

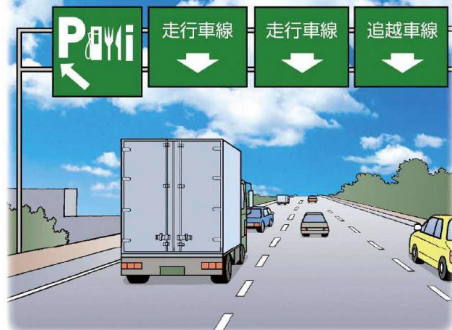
【単独枠取組事例】

<p>パレット化・フォークリフト導入 (機械器具費・備品購入費)</p>	<p style="text-align: center; color: red;">全面パレット化による手荷役の解消【製造業】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>従前は手荷役であったトラックへの積み込み作業を、パレットを活用することにより全面的にフォークリフトによる作業へ変更することで作業時間の短縮とともにドライバーの作業負荷の軽減を実現した。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>【改善のポイント】 施設状況がフォークリフトの利用を前提としていなかったため、フォークリフトの作業時の動線を確認のうえで、その他の作業員の歩行ルートを設定、両者の交錯による事故を未然に防止するよう準備した。</p> </div> </div>
<p>倉庫改修 (施設改修費)</p>	<p>荷主側の施設面の改善</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>工場内の積下ろし場所3カ所のうち、特定顧客商品専用の保管場所とされ、一般品の積下ろしに利用できない場所(1カ所)があった。これを一般品にも開放、一般品の積下ろし場所としても使えるようにした。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>● メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 荷主のメリットとしては、積下ろし場所の増加・分散による構内混雑の緩和、構内事故のリスクの軽減が期待できる。 ➢ 運送事業者のメリットとしては、全体として荷待ち時間の改善が期待できる。 ➢ 工場周辺での待機車両行列が緩和される。 </div> </div>
<p>標準化 (コンサルタント料、消耗品費)</p>	<p style="text-align: center; color: red;">使用するパレットに合わせたカートンに変更【製造業】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>従前は商品ごとに個装のパッケージデザインを中心に検討していた。結果として個装サイズにあわせたカートンサイズとなり、パレットへの積み付け時の積載効率が低くなるのがパレット化への阻害要因になっていたが、使用するパレットのサイズをベースとしてカートンサイズを検討、そこから改めて個装デザインを検討した。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: left;"> <p>【効果・課題】 パレット化が進めやすくなり、輸送効率が上がったが、工場ラインの制約や店頭陳列時のこともあって全ての商品というわけにはいかないが、タイミングをみながら随時進めて行く方針。</p> </div> </div>

輸送ルート見直し
(輸送費・荷役費・通関等その他輸送トリアル経費)

トラック事業者に対して高速道路利用を前提とした見積依頼【製造業】

長距離輸送に関してはリードタイムの延長に関して申し入れがあった際には柔軟に対応するとともに、必要に応じて高速道路利用を前提とした見積を依頼する。



【課題】

輸送コストが上昇することは課題ではあるものの、コンプライアンスを重視するという考え方では必要なコストであると判断している。

モーダルシフト
(輸送費・荷役費・通関等その他輸送トリアル経費)

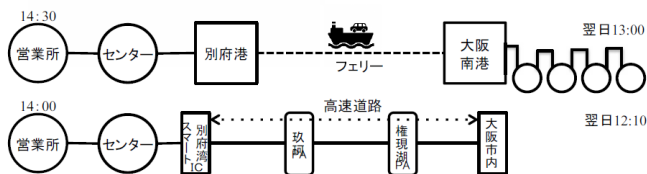
船舶や鉄道へのモーダル

大分県から大阪・滋賀の4カ所下ろしの長距離運行において、別府港～大阪南港間でフェリーを利用することで、夕方出発、翌日昼過ぎ納品と改善基準告示の遵守を実現。

- 大分県から大阪・滋賀の鶏卵問屋4カ所下ろしの長距離運行において、別府港～大阪南港間のフェリー利用による運行と高速道路利用による運行を比較



	高速利用	フェリー利用
拘束時間	22h10m	10h40m
運転時間	11h20m	4h30m
休息期間	無し	11h50m



【連携枠取組事例】

<p>輸配送や保管の共同化（機械器具費、備品購入費、施設改修費、コンサルタント料等）</p> <p>【発荷主の連携】</p>	<p>近隣企業の荷物を取りまとめ共通の着荷主に配送するため、共同倉庫や共同倉庫内の冷蔵庫等を整備する</p>						
<p>商慣行の見直し（コンサルタント料、システム導入・開発経費、輸送費・荷役費・通関等その他輸送トリアル経費等）</p> <p>【発荷主・着荷主の連携】</p>	<p style="color: red;">小口多頻度納品の発生する顧客に発注の集約を要請【製造業】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p>顧客ごとに発注頻度、発注ロットなどのデータを分析することにより、小口多頻度による納品の発生している顧客を抽出し、納品頻度や発注ロットの集約を依頼した。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>【課題】 顧客に対する集約依頼となるため、基本的にお願ひベースにしかならず、顧客側の協力が不可欠であるが、全ての顧客が理解してくれるわけではない。</p>						
<p>システム化（システム導入・開発経費等）</p> <p>【発荷主・着荷主・運送事業者の連携】</p>	<p>物流システムや資機材の標準化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p>手書きの「出荷連絡票」を廃止し、システム上の出荷情報データを貼付する仕様に変更するとともに、重量、才量から荷姿をパターン化、簡易的に配車割り付けが行えるように変更することで発荷主と運送事業者間の情報連携の迅速化と手待ち時間の短縮を実現。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">Before</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">After</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>出荷情報確定から出荷作業開始までの流れ</p> <p>↓</p> <p>出荷情報の連絡</p> <p>↓</p> <p>出荷情報を基に配車割付</p> <p>↓</p> <p>出荷作業</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>手書きの「出荷連絡票」をFAXで送信していたためタイムラグが発生</p> <p>商品情報だけでは、パレット数、高さが分からず割付に時間がかかる</p> <p>2箇所積み専用の積込ルールが不明確</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>システム上にある出荷情報データの活用によりリアルタイムに情報共有</p> <p>重量・才量の標準荷姿から1パレット重量換算し、割付を簡素化</p> <p>積込ルールを明確にすることで事前の準備が出来るように</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div>		Before	After	<p>出荷情報確定から出荷作業開始までの流れ</p> <p>↓</p> <p>出荷情報の連絡</p> <p>↓</p> <p>出荷情報を基に配車割付</p> <p>↓</p> <p>出荷作業</p>	<p>手書きの「出荷連絡票」をFAXで送信していたためタイムラグが発生</p> <p>商品情報だけでは、パレット数、高さが分からず割付に時間がかかる</p> <p>2箇所積み専用の積込ルールが不明確</p>	<p>システム上にある出荷情報データの活用によりリアルタイムに情報共有</p> <p>重量・才量の標準荷姿から1パレット重量換算し、割付を簡素化</p> <p>積込ルールを明確にすることで事前の準備が出来るように</p>
	Before	After					
<p>出荷情報確定から出荷作業開始までの流れ</p> <p>↓</p> <p>出荷情報の連絡</p> <p>↓</p> <p>出荷情報を基に配車割付</p> <p>↓</p> <p>出荷作業</p>	<p>手書きの「出荷連絡票」をFAXで送信していたためタイムラグが発生</p> <p>商品情報だけでは、パレット数、高さが分からず割付に時間がかかる</p> <p>2箇所積み専用の積込ルールが不明確</p>	<p>システム上にある出荷情報データの活用によりリアルタイムに情報共有</p> <p>重量・才量の標準荷姿から1パレット重量換算し、割付を簡素化</p> <p>積込ルールを明確にすることで事前の準備が出来るように</p>					